

夏の部優秀賞十首

あふぎ見る岩手の山の夏の雲
遠くはなれし
ふるさと恋し

東京都葛飾区 佐治 彰子

たくぼく けんじ う
啄木と賢治を生んだ

まち おく
この街のホールの奥で

うた よ きみ
短歌を詠む君

前橋市 藤生 揚亮

盛岡の街に買ひたる
熊避けの鈴鳴らしつつ
夏の山ゆく

福島県伊達郡 菊地 幸子

まつしろいブラウスみたいな

風の吹く

もりおかはもう夏の気分だ

鎌倉市 大西 久美子

「ひさしぶり」

「よぐきた まんず おぢやこのめ」

もりおか感じる 盆のやりとり

根室市 石川 由佳子

嬉しいな

啄木の故地 盛岡で

短歌詠みできる僕の心境

石巻市 齊藤 雄紀

群舞する

盛岡さんさ夏の夜

響け轟け天の川まで

盛岡市 昆野 寛顕

しぶたみ

漁民の

そら

空にこだます 啄木の

じゆうう うた こうか

自由の歌が校歌となりて

たくぼく

東京都板橋区 山岡 富美

ありがとう 最後の大波 大はしやぎ

さいご おおなみ おお

たの おも で

楽しい思い出

けんじワールド

宮古市 吉田 直

もり ゆ

森の湯の

いわ

あか

岩にひらりと赤トンボ

おうしゆく かぜなつ おわ

鶯宿の風夏も終りに

市原市 野村 由美子

「講評」よい歌がたくさん寄せられておりうれしく読ませていただきました。盛岡や浜
民の地も、岩手山も、祭りなども、それぞれ新鮮な感覚で把握されておりました。時
代とともに、その土地も人の心も移りゆくことを思いつつ選ばせていただきました。

平成二十五年九月選 夏の部

投稿数 百九十九首

選者 柏崎 驍二 氏